

# ZC-52D

## コレット交換方法説明書

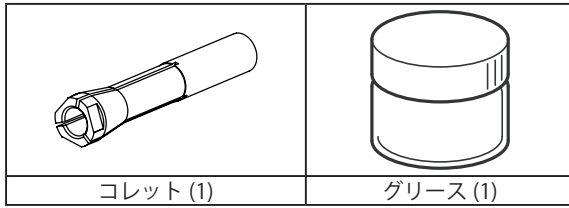
---

### <対象機種> **DWX-52D**

- ⚠️ **警告** コレットは、しっかりと固定する。固定後は、スパナなどの取り忘れがないか確認する。  
さもないと、それらが勢いよくはじけ飛び、けがをする恐れがあります。
- ⚠️ **注意** 加工直後はスピンドルユニットやその周辺に触れない。  
やけどをすることがあります。
- ⚠️ **注意** メンテナンスは必ず加工用工具とワークを取り外した状態で行う。  
刃先に触れるとけがをすることがあります。

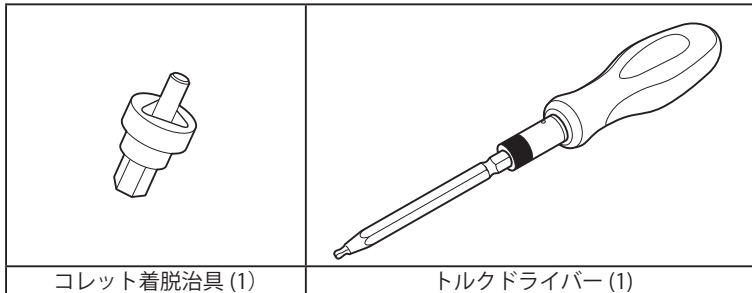
## 内容物

本品には次のものが同梱しています。すべてそろっているかご確認ください。



## 交換作業に使うもの

コレットの交換作業に使用しますので、DWX 本体に付属のコレット着脱治具とトルクドライバーをご用意ください。



## 交換手順

### 1. コレットを取り外す。

#### ① 本体の電源スイッチをオンにする。

スピンドルユニットにミリングバーがついたままになっていた場合は、電源がオンのあとで本体の操作ボタンを押してください。ミリングバーを ATC マガジンに返却します。

#### ② Vpanel を表示する。

タスクトレイにある VPanel アイコンをクリックしてください。VPanel が表示されます。VPanel が正しく表示されない場合は、本体付属の取扱説明書をご確認ください。

#### ③ コレットを交換する機体を選ぶ。

##### ① VPanel のメイン画面で操作する機体を選択する。

複数台接続している場合は、アイコンをクリックして機体を切り替えます。

##### ② をクリックする。

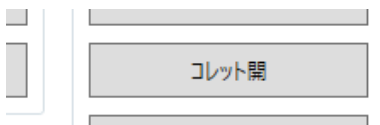


「設定」画面が表示されます。

#### ④ スピンドルユニットの位置を調整する。

##### ① 「メンテナンス」タブをクリックする。

##### ② 「コレット開」をクリックする。



③ 「OK」をクリックする。

スピンドルユニットが所定の場所まで移動し、コレットが開きます。

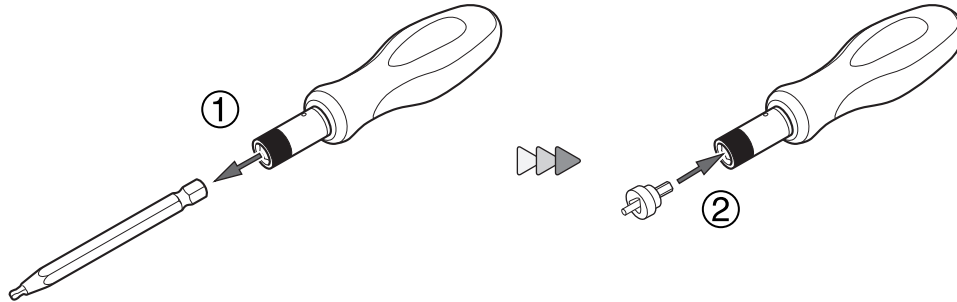
④ 動作完了の画面が表示されたら、[OK] をクリックする。

5 フロントカバーを開ける。

6 トルクドライバーにコレット着脱治具を取り付ける。

① トルクドライバーのビットを取り外す。

② トルクドライバーにコレット着脱治具を取り付ける。



7 コレットを取り外す。

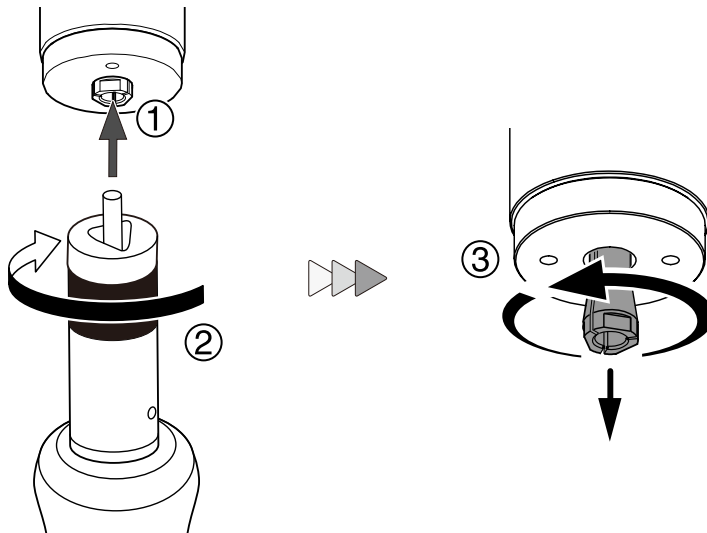
① トルクドライバーに付けたまま、コレット着脱治具をコレットに差し込む。

コレット着脱治具の三角のくぼみに、コレットをはめ込みます。

コレット着脱治具の突起がコレットに入らない場合は、④の操作をもう一度行ってください。

② トルクドライバーでコレットを緩める。

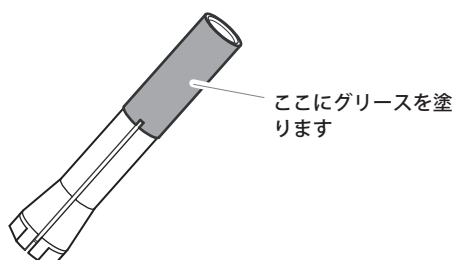
③ コレットを矢印の方向に回して取り外す。



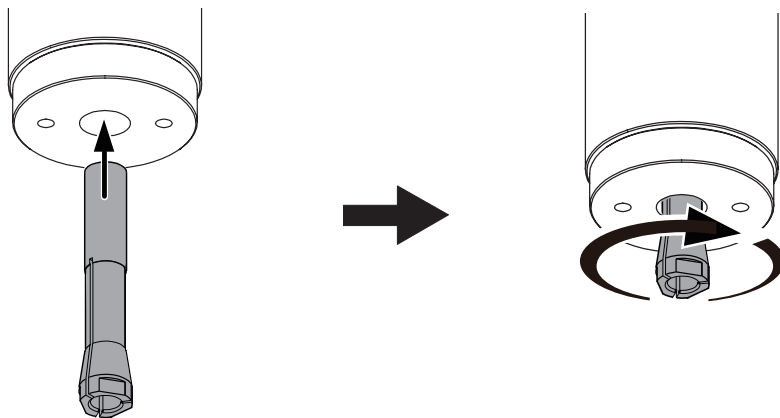
## 2. コレットの取り付け

1 新しいコレットに薄くグリースを塗る。

コレットの上部全体（図の色がついた部分）に薄くグリースを塗ります。

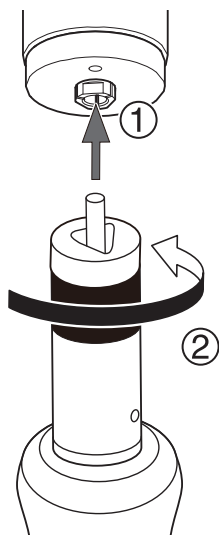


- 2 コレットを差し込み、矢印の方向に1周回す。




- 3 コレットを取り付ける。

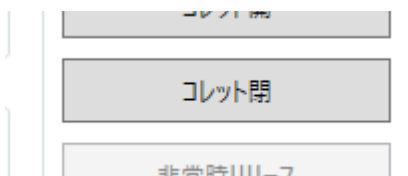
- ① コレット着脱治具をコレットに差し込む。  
コレット着脱治具の三角のくぼみに、コレットをはめ込みます。
- ② トルクドライバーでコレットを締める。  
トルクドライバーから音がするまで締めてください。



- 4 トルクドライバーを取り外し、フロントカバーを閉める。

- 5 コレットを閉じる。

- ① VPanelを表示し、 をクリックする。  
「設定」画面が表示されます。
- ② 「メンテナンス」タブの[コレット閉]をクリックする。



- 6 [OK]をクリックする。

スピンドルユニットが所定の場所まで移動します。  
作業完了のメッセージが表示されれば終了です。

---

### 3. 自動補正を行う

---

本体付属のマニュアルにしたがって自動補正を行ってください。  
自動補正が終了したら、コレットの交換は終了です。